

“準備はいつまでしてもらおう…”

何かをしようとしたとき、事前に準備されていることがあります。ただ、いつかは準備をする側になります。ということは、何も無いところから自分で行動していかななくてはなりません。

大学時代の友人（現在は宮城県の県立高校の校長）が、県内でも有数の進学校に勤務していた時、学校から出される宿題（課題）は、ほぼなかったそうです。皆さんの中には、“いいなあ”と思う人もいるかもしれませんが、実情は、その学校の生徒たちにとって宿題（課題）は必要がなく、あると自分たちのやりたい勉強ができないのです。というのは、進学校なので、ほとんどの生徒は、東京大学などの難関大学と言われているところを目指します。そういう生徒たちにとっては、学校から出される課題は自分たちの勉強を妨げる迷惑でしかないのです。自分にとって必要な学習をして、わからない所は学校の先生に聞くという流れが普通にできているのです。ちなみに友人は、そこで勤務しているときは、毎日のように多くの生徒が、入試問題など難問の質問、解き方だけでなく、原理まで聞きに来るので、かなり時間をかけて勉強しないと対応できないので大変だったと言っていました。（実際、人生で一番勉強したと言っていました）この学校の生徒たちは、学習面だけでなくすべての面で“自律”していたので、生活面、部活動等、学校が準備をしなくても自分たちでやっていったのです。もちろん体育祭や文化祭等の行事も先生方に頼らず、生徒たちで実行委員会などを立ち上げて行っていました。先生方は、生徒たちが下校する夜の 10 時まで待機するのが主な役目だったようです。友人が言うには、勉強も行事も部活もすべて、勢い（パワー）がすごい生徒たちだったようです。“自律”すると凄い力を発揮するのですね。

生まれて間もない頃、99%ほど周りの人が準備をして1%子供がすると褒められます。その割合は、幼稚園で90%ぐらい、小学校低学年で80%。高学年で70%、周りの人が準備しているケースが多いです。では、中学校はどうでしょうか。本校の3年生に「〇〇はどうなっているの？」と聞くと「すみません。すぐに確認してきます」という生徒が多いです。しかし、1年生、2年生だと「聞いていません」、「言われていません」、「わかりません」と答える生徒の割合が増えます。そう考えると、本校では1年生で60%、2年生で50%、3年生は30%～20%ぐらい周りの準備が必要かもしれません。今日生徒会役員選挙が行われ、1、2年生から新しい生徒会役員が誕生します。これからは、1、2年生が“自分たちが…”という思いを持っていろいろな活動に取り組んでほしいと思います。そのためには、周りの準備がなくても自分たちで行動できるようになっていく必要があります。難しく感じるかもしれませんが、皆さんならきっと大丈夫です。まずは、日常の活動や部活動から取り組んでみてはいかがでしょうか？楽しみにしています。